

ナガセ R&D センター

東工大発ベンチャーLogomix 社による国内初のゲノム構築プロジェクトに参画

長瀬産業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）の研究開発施設「ナガセ R&D センター」（神戸市）は、国立大学法人東京工業大学（東京都目黒区、学長：益 一哉、以下「東工大」）発のベンチャー企業である株式会社 Logomix（東京都港区、代表取締役：相澤 康則、以下「Logomix 社」）が主催する産学連携のプロジェクトで、特定の生物種の遺伝子情報を設計・合成するゲノム構築技術の推進を目指す国内初（※1）のプロジェクト「バクテリア・ゲノム・アーキテクト・プロジェクト（以下、「BGA プロジェクト」））に参画します。

酵母や大腸菌など細菌レベルのゲノム（遺伝子情報）解析については国際的な研究が進んでおり、様々な分野の基盤技術につながることを期待されています。BGA プロジェクトは、Logomix 社代表である東工大学の相澤康則准教授が主導し、長瀬産業を含む7社が参加。バイオエコノミー社会の実現に向けて、様々な物質を作り出す「産業微生物」として知られる大腸菌のゲノム構築に関する研究の推進を目指します。活動期間は2021年度までの2年間です。

ナガセ R&D センターでは、同じ産業微生物である放線菌（※2）を活用した独自の放線菌発酵技術（N-STePP®）をコア技術に、酵素や機能性素材の生産技術開発を進めています。BGA プロジェクトへの参画を通して最新のゲノム構築の知見を放線菌研究に応用することで、基盤技術の強化を目指します。NAGASE グループは、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現を目指しており、ナガセ R&D センターは、最先端のバイオ技術開発を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

（※1）東工大調べ

（※2）土壌に生息する微生物で、複雑な化合物を作り出すことができる

■ Logomix 社：2019年設立。ゲノム設計に関する特許および国際的な関連プロジェクトへの参加実績がある相澤康則代表の知見をベースに、民間企業等と最先端の共同研究を実施している。

URL <https://www.logomixgenomics.com/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 <https://www.nagase.co.jp/>

<プロジェクトに関するお問い合わせ> ナガセ R&D センター TEL：078-992-3162

<報道に関するお問い合わせ> 経営企画本部 企画管理室 TEL：03-3665-3640